令和５年６月

令和４年 2022 年度

自己点検および学校関係者
評価報告書

宇都宮ビジネス電子専門学校

１．学校の現状

Ⅰ.学校の教育目標

1.専門学校としての使命と目的

学校教育法第 124 条、及び第 125 条の規定に基づき、社会人として必要な教養と専門知識を有する有能な人材を育成し、工業及び商業経済の発展に貢献できる人材の育成を使命・目的とする。

2.教育目標

「使命・目的」のもと、教育目標を下記のように定める。

・専門技術や技能の習得
・豊かな人間性と個性の伸張
・誠実で心豊かな人間性の育成
・広い視野と優れた創造性を育む
・たゆまぬ努力と貪欲な研究心・向上心の育成
これらを育むことにより自信をつけさせ「社会での生きる力」を植えつける。

Ⅱ.重点的に取組むことが必要な目標（教育重点項目）

1.学生の「やる気」向上の実現
2.ドロップアウト・ゼロの実現

重点項目	評価項目	評価※
1-1	学生の「やる気」を向上させるための研修は行われているか	３

※４：適切、３：ほぼ適切、２：やや不適切、１：不適切

① 課題

・例年　外部講師または学校内部で全教員を対象に学生の「やる気」を向上するための全体研修を実施している。しかし研修後のフォローアップを継続していないことで、研修の意識づけが一過性で終わってしまうことが一部に見受けられ今後の課題になる。

② 今後の対応または改善

・全体研修後のフォローアップを実施していく。また担任の教員は学生とのコミュニケーションをスムーズに形成するため個別面談を定期的に今後も実施していく。

＜学校関係者評価委員記入欄＞

・外部講師、全教員は学生とのコミュニケーションを重点に行い定期的に今後も個別面談を重視してはどうか。
・研修後のフォローアップの必要性は大事と思う。どんな形でできるのかを考えて早く実施できることを期待したい。
・やる気向上の実現については、国家試験等の目標が持ちやすく、やる気実現に寄与していると考えます。
・研修で学んだことをその場で終わらせずに業務へ落とし込めるよう、頑張ってほしい。

重点項目	評価項目	評価※
2-1	ドロップアウト対策は計画的に行われているか	2

※４：適切、３：ほぼ適切、２：やや不適切、１：不適切

① 課題

・本校では担任制のもと、学生と担任教員が個別面談を月に１回以上実施してコミュニケーション作りしている。一人あたりの面談時間が多く取れないので学生の真意が掴めないケースもある。
・保護者の協力も得てドロップアウトを防ぐようにしているが、必ずしも全員の保護者から協力を得られわけではない。入学について保護者が関与していないなど無関心のケースもある。

② 今後の対応または改善

・担任教員だけが学生や保護者対応するのではなく、副校長・校長を交えて状況に応じた学生、保護者面談を実施していく。

＜学校関係者評価委員記入欄＞

・適切だと思います。
・担任が全生徒をじっくり時間を取っての面談にも限界もあると思うが日常の一言の会話の中でコミュニケーション、また面談の中でほかの生徒情報を得る事なども大きな助けになると思います。
・状況により密なる面談が必要。経済情勢により各家庭の経済状況も変化有と推察します。行政の多方面からの手助けを頂けるとありがたい。
・授業料支払いでのドロップアウトは仕方ない面もある。
・個別指導授業の対応は、すばらしいと思う。
・スクールカウンセラーの導入を検討してみてはいかがでしょうか？

Ⅲ.評価項目の達成及び取組み状況

１.教育理念・目標

項　目	評価項目	評価※
1-1	教育理念・目標・育成人材像は定められているか	4
1-2	学校における職業教育は何か	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	学校の教育理念・目標・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向づけられているか	3

※４：適切、３：ほぼ適切、２：やや不適切、１：不適切

①課題

・学校の教育理念・目標・育成人材・特色・将来構想などは入学当初学生に「学生の手引き」を使って説明しているが保護者には文書のみの配布になっている

②今後の対応または改善

・学校の教育理念・目標・育成人材・特色・将来構想を常時閲覧できる体制を整える

＜学校関係者評価委員記入欄＞

・目標（資格取得など）については、常に学生も意識しているからこそ実践されていると思います。
・教育理念、目標、人材育成、特色、将来構想等については、御校の基本理念通りと思う。昨今の道徳、倫理を改めて見直そうと言われていますが、心と常識の学びが一番。
・取得資格と卒業後の活躍イメージが連想できるよう学生や保護者に周知をすすめてほしい。
「なぜ、この資格なのか？」
『情報系だから』ではなく、業界ニーズと合わせて説明

2.学校運営

項　目	評価項目	評価※
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	3
2-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

※４：適切、３：ほぼ適切、２：やや不適切、１：不適切

①課題

・意思決定システムは適宜機能しているが、全ての事項について常に決定されているとは言えない。
・全ての情報公開が行き届いているわけではなく適切とは言い難い。

② 今後の対応または改善

・教職員に対してコンプライアンスの勉強会を実施するなど底辺から意識改革をしていく等でコンプライアンス体制を整えていく。
・情報公開の在り方を模索して的確な対応をしなければならない。

＜学校関係者評価委員記入欄＞

・教職員の勉強（会）、意識改革は常に必要と思います。
・コンプライアンス体制整備の重視
・教育活動等に関する情報公開をネットに掲載して、広く地域社会に公表。
・適格と思う。

3.教育活動

項　目	評価項目	評価※
3-1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2
3-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
3-6	関係分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	3
3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
3-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
3-11	人材育成の目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
3-12	関連分野における業界との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントがおこなわれているか	3
3-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みは行なわれているか	4
3-14	職員の能力開発のための研修等は行われているか	4

※４：適切、３：ほぼ適切、２：やや不適切、１：不適切

①課題

・令和４年度も、コロナ感染症の影響によりキャリア教育の一環である企業実習が実施できなかった。
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携によるカリキュラムの作成・見直し等は、全学科で行われているわけではない。
・職業教育に対する外部関係者からの評価はまだまだ行われているとは言い難いのが現状である。

②今後の対応または改善

・新型コロナ感染症は第５類に位置づけられたので、今後は企業と調整してキャリア教育を充実させたい。
・関連分野における業界と接点がある非常勤の教員と情報共有して現状にマッチしたカリキュラムを位置づける。

＜学校関係者評価委員記入欄＞

・評価の劣る項目を重視し、教育の視点のあり方、教育方法の工夫などを実施されることが望ましい。
・コロナ鎮静化と思える状況になりつつある今、企業との連携でのキャリア教育など積極的に行ってほしい。
・コロナ問題が落ち着きそうですし、すべての事が元の形に戻る様願うと共に、諸々の事が以前の形に早くもどる事を願うばかり。
・コロナも落ち着いたので、今後の対策に期待。

4.学修成果

項　目	評価項目	評価※
4-1	就職率の向上が図られているか	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4
4-3	退学率の低減が図られているか	2
4-4	卒業生･在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	3

※４：適切、３：ほぼ適切、２：やや不適切、１：不適切

① 課題

・新型コロナウイルス渦中により目的意識の薄らいだ学生が入学する事で学生指導がままならず退学者が増えた傾向がある
・学校斡旋で就職した生徒に関しては、離職しない限り企業から状況を得られる体制だが、離職した場合は把握できていない。

② 今後の対応または改善

・今後、就職先企業とも連携を図り、卒業生の活躍の把握と評価を確立するための仕組みづくりを行う。
・卒業生で独立している卒業生に、現況報告を依頼して活躍の把握に努め在学生の進路決定に役立たせる。

＜学校関係者評価委員記入欄＞

・今後の対応、または改善は自己点検の通りで良いです。
・卒業生からの現状報告を活用した取り組みは、在校生や入学検討者にとって興味深いものになると思います。
・卒業生の現場での活躍・活動報告は、在校生に夢と希望を与える種となる。大いに役立たせてもらいたい。
・「今の勉強が〇〇につながる」という将来像を繰り返し案内し、目標と示し続けてほしい。
・卒業生への再就職サポートを在学中からアピールし、就職後の学校相談につなげてほしい。→情報収集のチャンス増

5.学生支援

項　目	評価項目	評価※
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
5-7	保護者と適切に連携しているか	3
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4
5-9	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
5-10	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	3

※４：適切、３：ほぼ適切、２：やや不適切、１：不適切

①課題

・令和４年度も新型コロナ感染症防止のため、課外活動に対する支援を充実すべきと計画したが実施不可能となった。
・保護者との適切な連携に関しては、年２回の通知での連絡はしているものの、その他は欠席が目立つなど特定の学生のみになっているのが現状である。
・一部の学科では、社会のニーズを踏まえた教育環境が整っているが全てにおいてとはいい難い。
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みは、まだ不十分といえる。

②今後の対応または改善

・保護者との適切な連携に関しては、今後、保護者会の実施に向け検討していく。
・全ての学科において、社会のニーズを踏まえた教育環境が整えられるように今後研究して実践していく。
・今後、市内の高校と連携を図りキャリア教育・職業教育を充実させるための専門学校としての役割りを全うする。

＜学校関係者評価委員記入欄＞

・今後の対応、または改善は自己点検通りで良いです。
・保護者との連携は、学生の指導において大きな助けになる情報交換の機会として大切だと思いますので期待したいです。
・課外活動については、コロナ禍で仕方なかった面もある。(受け入れ先が無い)
・落ち着いた今、企業とのパイプ再開へ向け、情報交換を進めてほしい。

6.教育環境

項　目	評価項目	評価※
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
6-2	学内外の実習施設、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2
6-3	防災に対する体制は整備されているか	3

※４：適切、３：ほぼ適切、２：やや不適切、１：不適切

① 課題

・ＩＴ設備に関して機器の更新時期を検討して新たな機器に更新しているが、すべてのＩＴ環境には及ばない。
・インターンシップの実現はコロナの影響により令和４年度も中止となる。
・大規模な災害が発生した場合を想定して、学生避難など安全第一を考えていかなければならない。

② 今後の対応または改善

・施設・設備に関して機能の調査を実施しながら整備していく。
・インターンシップはコロナ感染症の終息を待って、再度実施していく。
・地域で行う防災訓練にも積極的に参加して、地域住民との連帯感を育み、学生の安全確保を最優先で考えていく。

＜学校関係者評価委員記入欄＞

・施設、設備などの整備努力に、インターンシップの実施、地域住民との連携感を育み、学生の安全確保が望ましい。
・コロナの状況も大分落ち着いた兆しがあるようです。インターンシップが実現するといいと思います。
・適格と思う。
・インターンシップ再開について、企業で差が出ると思われる。
担当者と密接な関係を作り、受け入れの落とし所を見つけてほしい。
・インターンシップを再開している企業が増えている様ですので、是非実施して下さい。
・近年、台風や大雨による災害が増加しております。避難方法や下校のタイミングの見直しが必要かもしれません。

7.学生の募集と受入れ

項　目	評価項目	評価※
7-1	学生募集活動は適正に行われているか	4
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
7-3	学納金は妥当なものになっているか	4

※４：適切、３：ほぼ適切、２：やや不適切、１：不適切

① 課題

・募集活動は適正に実施されているが、コロナ禍での中、進学希望者の減少（経済面含む）18 歳人口の減少、就職しやすさなどの影響から募集活動に工夫が必要と思われる。

②今後の対応または改善

・入学希望者が興味を持てるコースの設置とカリキュラム内容に工夫をして外部に向けアピールしていく。

＜学校関係者評価委員記入欄＞

・オープンキャンパスと体験学習を更にアピールすることに期待。
・毎年のコース研究と新コース設定はすごいです
・入学希望者が興味を持てるコースの設置。年々変化していると思う。
時代に合ったコースの新設に力を入れて欲しい。
・就職しやすさとやりたい仕事が出来る（活躍できる）は等しくない。
コース設置やアナウンスで、
『やりたい職種で活躍したいなら、UBDC で学べ』となってほしい。

8.財務

項　目	評価項目	評 価 ※
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	3

※４：適切、３：ほぼ適切、２：やや不適切、１：不適切

① 課題

・財政基盤の安定性は学校運営にあたり大切なことである。コロナ禍で都心への大学進学減少などもあり新入生がやや増加したが一時的と思われる。今後全学科入学定員数の確保はやや厳しい現状がある。

② 今後の対応または改善

・大学進学や就職の良さは今後永続的なものではないと思われる。
・授業の内容密度を更に高め、生徒の満足度を上げるためにも努力していく必要がある。
・財務情報公開に関しては、公開方法や公開範囲において今後検討しなければならない。

＜学校関係者評価委員記入欄＞

・特になし
・授業の内容密度を高める事は、今後とも大切なことだと思う
・子供の人口減は仕方ないが、大学等との生徒取り合いに負けないよう、差別化に頑張ってほしい。
・今後も安定した経営を続けてほしい。

9.法令等の遵守

項　目	評価項目	評価※
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
9-2	個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	3
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
9-4	自己評価結果を公開しているか	4

※４：適切、３：ほぼ適切、２：やや不適切、１：不適切

①課題

・個人情報保護の認識レベルが、教員ごとに差がある。
・自己評価実施時期を前期及び後期終了後に実施しているが、学科コースにより各期の終了時期に違いがあり集計タイミングが遅れる場合がある

②今後の対応または改善

・教員研修などで、個人情報保護について意思統一を図っていかなければならない。
・自己評価実施時期の把握を担任のみでなく学校として把握し確認していく。

＜学校関係者評価委員記入欄＞

・対応と改善策に同感。
・個人情報保護についての意見統一は重要と思います。
・第三者的立場から見て、適正な運営がされていると思う。
・個人情報の取り扱いは、年々厳しくなっているので、頑張ってほしい。

10.社会貢献

項　目	評価項目	評価※
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
10-2	学生ボランティア活動を奨励・支援しているか	3
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等含む）の受諾等を積極的に実施しているか	3

※４：適切、３：ほぼ適切、２：やや不適切、１：不適切

① 課題

・本来であれば、ボランティア活動及び地域の方に施設の利用を勧めているが、今年度も、コロナ感染症の影響により縮小した。

② 今後の対応または改善

・コロナ感染症の終息に向かい、積極的にボランティア活動参加や地域貢献のため学校の教育施設の提供を奨励する。

＜学校関係者評価委員記入欄＞

・積極的にボランティア活動に参加や地域貢献のための学校の施設の提供を歓迎します。
・コロナ状況も落ち着きを見せる中、宮祭りや花火大会などへのボランティア計画があるとの事で、今後さらに活動できるとよいと思います。
・いつの時代でも社会貢献、ボランティア活動は必要。心も身体も内面からの教育をして欲しい。
・コロナの落ちつきにより、以前のように戻ることを期待。
・イベント司会等も増えて、UBDC がアピールできように戻ってくれてほしい。
・コロナ感染症５類移行及び終息に向かいつつあるので、ボランティアの受け入れもコロナ発生以前の水準に戻ってくると思われるので、積極的に参加していただきたい。